

小規模多機能型居宅介護まこと

グループホームまこと

運営推進会議 議事録

令和2年1月15日（水）

14時～15時

小規模多機能型居宅介護まこと 2階

司会 吉田・石井

書記 石井

参加者

- ・松本 将功様（小規模ご利用者様兼 GH ご家族様）
- ・登藤 好夫様（GH ご家族様）
- ・貸場 裕子様（GH ご家族様）

欠席者

- ・包括支援センター様

1 挨拶

2 事業運営報告

- ・ 11月・12月のサービス利用状況 （小規模・グループホーム）
- ・ まことでのサービス内容、行事等 （小規模・グループホーム）
- ・ 利用者ご家族様からの声
- ・ 11月・12月の事故報告について
- ・ 地域包括支援センター様からの声

3 意見交流

- ・ 小規模多機能型居宅介護まことより

4 その他

- ・ 小規模多機能、グループホームより
- ・ 今後の活動等

2 事業運営報告

■ 11～12月の介護度別サービス利用状況

(11月30日・12月31日付)

要介護	11月 小規模	12月 小規模	11月 グループホーム	12月 グループホーム
要支援1	1名	1名		
要支援2	1名	1名	0名	0名
要介護1	6名	7名	0名	1名
要介護2	8名	6名	5名	5名
要介護3	6名	5名	6名	6名
要介護4	3名	4名	3名	3名
要介護5	1名	1名	3名	3名
計	26名	25名	17名	18名

吉田：11月の登録者数は26名でしたが、1名ご逝去されました。また違う施設に移った方もいました。12月に新規で通いの方が1名来られたため25名となっています。小規模は29名が定員で、現在病院や包括さんに声を掛けてさせて頂いている状態です。

石井：11月は6日入院され老衰で17日に解約、24日にご逝去され17名となっています。要介護1の新規の方が入居され18名となっています。

■ 小規模まことでのサービス内容・行事等

- ・11月 5日(火) まこと工作～プレゼント工作を作ろう！

吉田：まこと保育園来所時に園児へのプレゼントを作りました。

- ・11月 19日(火) ナルクボランティア

- ・11月 13日(水) 消防署見学に行こう！

吉田：釧路町の消防署へ行き、消防車に触れられるくらい近くで見学させて頂きました。

- ・11月 15日(金) まこと保育園交流会～園児訪問

- ・11月 22日(金) 消防署見学に行こう！

- ・11月 26日(火) 高橋めりー ～ふるさとコンサートツアー～

吉田：ゴスペルを聴かせて頂き、一緒に歌を歌いました。

- ・12月 9日(月) 日本舞踊鑑賞会

- ・ 12月 15日(日) まこと大忘年会
- ・ 12月 17日(火) ナルクボランティア
- ・ 12月 24日(火) クリスマス会

■ グループホームまことでのサービス内容・行事など

※大忘年会に向け1～2階合同の歌練習(隔日)

石井：歌練習ではリズムやテンポが各階で合わず苦労しましたが、本番では上手く発表をする事が出来ました。また、毎週金曜日1階ではおやつ作り、2階ではごはん作りを行っています。

- ・ 11月 3日(日) 誕生会(外食～竹老園)
- ・ 11月 5日(火) インフルエンザ集団予防接種～ふたば診療所～
- ・ 11月 5日(火) ナルクボランティア
- ・ 11月 15日(金) まこと保育園交流会～園児訪問あり～
- ・ 11月 15日(金) おやつ作り～芋団子作り～
- ・ 11月 22日(金) 料理作り～すいとん・おにぎり・ポテサラ・デザート～
- ・ 11月 23日(土) 料理作り～お好み焼き～
- ・ 11月 27日(水) 避難・通報訓練(消防)
- ・ 11月 29日(金) おやつ作り～ティラミス～
- ・ 12月 3日(火) ナルクボランティア
- ・ 12月 4日(水) おやつ作り～生クリームどら焼き～
- ・ 12月 5日(木) 誕生会～カフェにてパンケーキとオムライス～
- ・ 12月 6日(金) おやつ作り～プリン・ゼリー～
- ・ 12月 8日(日) 工作：ペーパーフラワー
- ・ 12月 12日(木) 料理作り～春巻き～
- ・ 12月 15日(日) まこと大忘年会～プリンスホテルにて
- ・ 12月 19日(木) クリスマス会～バイキングとケーキ～
- ・ 12月 20日(金) おやつ作り～アップルパイ～
- ・ 12月 21日(土) 冬至 おやつ作り～かぼちゃ団子～
- ・ 12月 31日(火) 年越しそば(昼食 海老天そば)

日常の家事の手伝いやカラオケレク、作品作りなども随時行っています。

吉田：これまでで、ご質問はありますか？登藤様どうでしょうか

登藤様：奥さんが「大晦日と元旦にすごい料理が出て、飾りも綺麗で良かった」と感激していました。ありがとうございます。

石井：ありがとうございます。

松本様：GHのクリスマス会に参加させてもらいまして、ご馳走させて頂いてありがとうございます。母さんとケーキも頂きました。

石井：ありがとうございます。お母様も喜んでいました。

■ 利用者ご家族からの声

小規模

- * まことの利用を止めたけど、家で見るのは大変になってきた。まことさんに泊めてもらうことは出来ないかい？ (O.T様 ご家族様より)

吉田：10月末で解約されましたが、旦那様が奥様を見るのは大変だとお話がきてお泊りをされています。日中は週2回ご自宅に帰り、夜はまことでお泊りをする生活をされていましたが、転倒し入院されています。退院されてからは、今まで通りの生活に戻れたらと考えています。

- * 転んで骨折してリハビリもしてもらったけど、まさかここまで良くなるとは思っていませんでした。また、まことに戻る事ができて良かったです。

(H.M様 ご家族様より)

吉田：11月に転倒し入院されリハビリをし、歩けるまで回復し12月中旬には戻られました。ご家族様も「認知症があるので、歩けるまでは戻らないのでは…」と心配されていましたが、「戻ってこれで良かったです」と喜ばれていました。

- * アシストリビングの契約時に、前家賃を支払うなんて記載はありませんでした。説明も無かったので、前家賃は支払いたくないのですが…。一度契約書を読み返してみてください。社長と、料金について一度お話をしたいです。(N.K様 ご家族様より)

吉田：前管理者が説明していた為、どのような内容だったかは把握しておりませんでした。契約書には前家賃を支払うという記載はありませんでした。代表へ相談し、代表を交えてご家族様と話し合いをし、ご理解を得る事が出来ました。契約書に書いていない等のご指摘も頂き、今後もトラブルにならない為にも改善が必要である事を気付かせて頂きました。

グループホーム

- * (利用解約手続き時) 娘とも話していて、柴田さんに厳しく言われた言葉を聞いて、本当に母の事を考えてくれていた事が伝わりました。感謝しています。色々大変な思いをさせた母でした。本当にありがとうございました (M様 ご家族様より)

石井：前回会議で、ご報告させていただいた内容の続きです。ご家族様もお母さまが終末期の段階に入り、どうしたらいいのかとの動揺もあり、意向がコロコロ変わった件について柴田よりお話をし先程ご逝去されたのご報告させて頂いた方です。その後は病院まで繋がる間の苛立ちをホーム側へ向けてきた一面もあり、信頼関係が築けていなかった状況を残念に思っていたという内容をお伝えしました。入院先が決まり、ある程度の覚悟と道筋が見えた事により、ご家族様も色々とお考えになっていたようでした。利用解約時には、息子様ご夫妻でお見えになって、

前に「柴田さんが厳しく訴えた内容を思い返して、本当に母の事を考えてくれていたんだと言う事が後になって分かりました」と、息子様より感謝の言葉と共に話されていました。

* (暴れた件について) 人様に手を挙げるなんて。何かあった場合には、しっかり駄目なものは駄目って注意してください。 (O様 ご家族様より)

石井：～いつも食事の時に使用するおしぼりを干している状態から自分で濡らして畳む等の準備してくれている方で、この日の夕食前にも職員が声をかけ、リビングに出来ていました。「腰が痛い」と本人は話され、普段寝ている事が多い方で職員は「動いていないからじゃない？」と返したら、おしぼりが入っているバケツをゴミ箱に何度かバンバンと叩きつけ始めてしまいました。そこから職員と押し問答になり、その後は感情が高まってしまい「階段から落ちて、目の前で死んでやる」と話して、仲介に入った男性職員を叩いたり、廊下にいた利用者様の背中を叩いたり、職員に噛みついたりされていました。一旦居室に戻るよう促すと「痛い」とその場で倒れこみ、職員が近づくと「痛い！触らないで！」と怒鳴ったかと思うと、スクッと立ち上がって部屋に戻りました。ですが、今度は部屋の物を投げで当たったり、その後も非常口をガチャガチャと開けようとして「死んでやるから！」と怒鳴っていました。職員代わり対応に入ると少し落ち着いて、その後はリビングに出てきて食事を摂りましたが、周りの利用者様はつい先ほどの出来事があったので、ひそひそ話があちらこちらで起きている状況でした。1時間後には職員も本人もお互い謝罪してその日は終わりました。翌日、直接本人と柴田と話をし、何故そのような事態になったか話を聞くと、この方は色々な洋服をもっていますが、本人の着心地で同じような服を選んできていました。昨日声を掛けたその職員に「いつもこの2枚しか着ていないね。お姉ちゃんに買って貰ったら？」と言われて「私が好きで着ているんだから、あんたに関係ないっしょ」というやり取りが数回あり、胸に残ったままだったとの事でした。たまたまその日、声を掛けてきた職員がその人で、言われた言葉が頭をよぎり許せなかったと、本人は話されていました。本人の話と憤りの感情を受容すると、「私も悪かったよね」と反省する言葉が出始めていました。まずは他の利用者さんに手を挙げた事については、今後一緒に生活する為にも本人に謝罪するよう提案すると「叩いていない、通り掛かった時にたまたま手が当たっただけ」と話していましたが、叩かれた方は「あの人に叩かれた」という認識で残ってしまうので、まずは謝罪するよう話しました。その後リビングに出てきたタイミングで謝罪していました。職員については個別で話を聞き、本人の受け取り方や入ってはいけない領域、自尊心に配慮した物言いなど、改めて考える機会を設け指導し現在は落ち着いて生活されています。

* (新規でパットを依頼した際) もう少し詳しく教えてください。もう既に沢山買い置きしてしまいました。(T様 ご家族様より)

石井：この方は日中と夜間で大きさの違うパットを併用して使用していました。ナイト用にも色々な種類があり、職員の説明によりこちらの希望している物とご家族様が用意して頂いていた物が違いました。今後の為にとたくさん購入させて頂いており、「もう少し詳しく教えて欲しかった」というお話がありました。その事から今後は見本を用意したり、種類名を伝えたりと同じような事が起きないように対応策を考える事が出来たきっかけでした。

登藤様：家族もストレスを抱えていると思うので、ちょっとしたミスでも気になってしまう人がいると思います。なので、始めから詳しく教えて頂けると家族側も大変助かります。

石井：今後、気を付けたいと思います。ありがとうございます。

■ 11月12月の事故報告について

	小規模 11月	小規模 12月	GH 11月	GH 12月
アクシデント	1件	1件	0件	2件
インシデント	7件	3件	2件	3件
ヒヤリハット	1件	0件	1件	0件

吉田：11月が多くなっています。アクシデントは先程お話した転倒し骨折した方の件です。12月も転倒し救急搬送し骨折していたという件がありました。インシデントはベッドから落ちてしまったり、薬ミスだったりと多くなっていました。今後事故を減らすようにしていきましょうと話し合いをしました。

石井：アクシデントは点眼についてです。手術された方で、術後点眼薬が3つ処方されていました。そのうちの1つが術前4回の指示でしたが、3回しか点眼しておらず気付いた時点から4回点眼へ変更するという事がありました。

登藤様：聞きました。気にしないでください。

石井：その際は申し訳ありませんでした。2件目は物忘れなどの症状を抑える貼り薬が処方されていました。朝食後の指示でしたが、食器拭き等をしてきている方で担当だった職員は「仕事の後に貼ろう」と思っており封を切った状態でいました。ですが、その事をもう1人の職員に伝えておらず、もう貼った後だと思い破棄してしまいました。担当であった職員も忘れてしまい、翌日改めて貼る際に前日の物がなく前々日の物が貼っておりその時に気付きました。本来は貼ってあるものを外し、新しい物を貼り外した物を確認してもらうという流れになっていました。ですが、その際は外したテープがない事にも破棄した職員は気づいていましたが「外してあるだろう」と思い担当職員に聞かず破棄してしまいました。お互いの情報共有が足りなく起こってしまった事故でした。

吉田：皆様からありますか？

貸場様：パットの件については、聞いて買っていただければ良かったのかなと思います。私も良く聞いて買っていました。買いだめも無いので難しいですね。

石井：この件については、色々な事情があり以前に説明していたんですがご家族様は違う種類の物を購入し持参してくれていたようです。職員もそこで説明していたら良かったんですが、「今日は違うのが来たんだな」と思って使用していました。その際はいつもより大きなサイズの物が来てしまい、ご本人にしては大きすぎて費用も掛かりもったいない部分もあってご説明させて頂いた時に先程のお言葉を頂きました。名前が一緒でもサイズや給水量が違うので、詳しく説明して行きましようとなったんです。

貸場様：難しいですね。外泊した時に、2日だけでしたけど大変でした。健康で行動範囲も広いので、見守っているのも大変でしたが本人は忘れてしまっていました。今日もごはんに行って孫3人いましたが、名前を忘れていました。1対1だと怒ってしまうので、孫と一緒にいられています。いつもご迷惑かけてしまって、すいません。

石井：こちらこそ。今日はすごく楽しかったのか良い表情でした。いつもありがとうございます。

■ 地域包括支援センター様からの声

吉田：本日は包括さんが欠席の為、割愛させていただきます。

3 意見交流

・小規模多機能型居宅介護まこと

吉田：10月から入社しまして、2カ月間で行った出来事をお話させていただきます。2階のアシストで生活されていた方で、5～6年ご利用されています。最初は歩行器を使用し歩かれていましたが、9月頃に歩いていた時に後ろからご利用者様に声を掛けられ振り返った際に転んでしまい肩を骨折してしまいました。その後、車椅子を使用し一時的に1階で生活していました。肩が治った頃、11月中旬には2階へ戻り昨日もあがり歩行器で生活していました。12月に入ってから転んだり、ぶつけたりはしていませんでしたが鼠径部の痛みを訴えており、歩けなくなってしまいました。病院受診した際にレントゲンを撮りましたが異常はなく、でもご本人は痛みを訴えていてMRI検査となりました。左側の骨折が発覚し、手術の為に12月に入院となり金属を入れリハビリをし歩けるようになりましようと話をしていました。ですが、ご本人心臓の病気等があり耐えられるのか心配でした。この方は身寄りがいなく、後見人も探していましたが見つからないまま入院となりました。その判断をケアマネの私がする事となり、ご本人と話し合いながら進めていきました。入院後の2～3日で体調の悪化がみられ、原因を探る為の検査をしている最

中に下血もあり、結果も腎臓や肝機能も悪くその後ご逝去となりました。病院から「今日、明日中かもしれません」と言われていたんですが、身寄りのない方が亡くなってしまった場合の対応がわからなく代表に相談したり、生活保護を受けていた方だったので、市役所に相談しながら葬儀会社等を施設の方で準備をしていました。

登藤様：生活保護を受けていたら、市役所の方では対応してくれないんですか？

吉田：対応してくれます。葬儀会社を決めてくれ、生活保護から葬祭扶助としてお金が出て全て行ってくれます。

登藤様：そうなんですね。

吉田：はい。ご本人は「戻りたい」と話されていましたが、戻ってこれられなくなってしまっ。このような経験をさせていただいたたケースでした。葬儀会社さんも良い方で、火葬場に行く前に小規模へ寄ってくれ利用者様と見送りをさせていただきました。

登藤様：大変でしたね、でも貴重な経験だったんじゃないかなと思います。ほんとにお疲れ様です。

吉田：ありがとうございます。

4 その他

・今後の活動について

(小規模多機能)

1月 初詣・絵馬作り・ねずみの張子作り

2月 節分豆まき&鬼退治ゲーム・バレンタインデーお菓子作り

大地みらい作品展見学

(グループホーム)

1月 初詣 日本舞踊鑑賞会 手芸工作ボランティア

2月 節分 まこと喫茶 大地みらい作品展見学 ハーモニカ演奏会

各月 誕生会 ボランティア等

次回開催予定日 令和2年3月18日(水)14時 小規模まこと2階リビングにて開催